

日本植生史学会ニュースレター

No.54 June 7, 2021

第36回日本植生史学会大会のご案内（第1報）・学会ニュース

第36回日本植生史学会大会のご案内（第1報）

◆ 主催 日本植生史学会

◆ 共催 帝京大学文化財研究所、山梨県考古学協会

◆ 開催日程

2021年10月30日（土）公開シンポ・論文賞受賞講演・オンライン懇親会

10月31日（日）一般研究発表（口頭・ポスター）・総会

◆ 開催方法

会場とオンラインでのハイブリッド形式での開催を検討しています。現在のところ、次の2案を検討中です。

第1案：公開シンポジウムと受賞講演、口頭発表は会場とオンラインでのハイブリッド形式。ポスター発表と懇親会はオンラインのみ。

第2案：公開シンポジウムのみ会場とオンラインでのハイブリッド形式（会場参加者は演者と山梨県・長野県に在住の方に限定）。受賞講演と口頭発表、ポスター発表、懇親会はオンラインのみ。

新型コロナウイルスの感染状況とワクチン接種状況をふまえ、7月末頃に開催方法を決定し、第2報にて詳細をお知らせします。なお、感染状況によっては、すべてオンライン開催になる可能性もあることをご承知おきください。

◆ 会場

帝京大学文化財研究所 大ホール・講義室

〒406-0032 山梨県笛吹市石和町四日市場 1566-2

<https://www.teikyo-u.ac.jp/bunkazai/>

アクセス：JR中央線『石和温泉駅』で下車。徒歩で約20分。

懇親会：オンラインでの開催を予定しています。

宿泊：開催方法決定後に各自でご予約ください。大会会場周辺にはビジネスホテル、石和温泉駅周辺には温泉旅館があります。

◆ 大会実行委員：中山誠二（委員長）・佐野隆・赤司千恵・工藤雄一郎・那須浩郎・林竜馬・真邊彩・浦蓉子

◆ 公開シンポジウム

「縄文時代のマメ科植物のドメスティケーション（仮題）」

日本列島の栽培植物についてはこれまで、そのほとんどが弥生時代以降にもたらされた大陸起源の外来植物と考

えられてきた。しかし、近年の植物考古学研究の中で、縄文時代にさかのぼるマメ科植物の存在が確認され、日本列島内におけるそれらの栽培化の可能性が議論されるようになってきた。今回の公開シンポジウムでは、縄文時代のマメ科植物を中心にその種類と時代的变化をとらえ、同時代の日本列島において果たしてマメ科植物のドメスティケーション（栽培化）が進行したのか、否かを議論する。これらの議論を通して、「植物のドメスティケーション」とは何かを改めて問い直してみたい。

以下の基調講演と報告、パネルディスカッションを予定しています（演題はすべて仮題です）。

基調講演：「遺伝学・育種学からみたマメ科植物のドメスティケーション」

（友岡憲彦：農研機構遺伝資源研究センター）

基調報告1：「中国・韓国・日本列島での検出状況とマメ科植物の変化」

（小畑弘己：熊本大学）

基調報告2：「縄文時代のマメ科植物の形質変化」

（中山誠二：帝京大学文化財研究所）

基調報告3：「縄文時代の人間＝植物関係をどのような視点と方法で説明するか」

（山田昌久：東京都立大学）

基調報告4：「マメ科の人類生態学・歴史生態学」

（高瀬克範：北海道大学）

パネルディスカッション（司会：佐野隆、那須浩郎）

◆ 巡検

新型コロナウイルス感染防止のため、実施を断念しました。

学会ニュース

● IPC/IOPC2020 大会の再延期について

2021年に延期されました、チェコのプラハで開催が予定されていた国際花粉学会議/国際古植物学会議 2020 大会 (IPC/IOPC2020)が、新型コロナウイルスの感染拡大のため 2024年5月に再度延期されました。延期後の大会予定日程は、2024年5月25-31日です。

延期された大会の最新情報は、各自で下記ホームページにてご確認ください。

<https://www.prague2020.cz>

● 次年度シニア会員制度申請のお知らせ

日本植生史学会では、植生史学分野に長年携わり活躍されてきた会員に、定年退職後も学会活動への継続的な参画を期するため、「シニア会員」の制度を設けています。

すでに60歳となり定年を迎えた方や、2021年3月に定年を迎えた方など、常勤の職を持たない60歳以上の正会員の方で、シニア会員への会員種別の変更を希望される方は、2021年8月末日までに申請書（学会ホームページよりダウンロードできます）に必要事項を記入の上、庶務幹事宛にお送りください。申請書のダウンロードが可能な

いは庶務幹事 にお問い合わせをお願いします。幹事会での承認を経て、次年度（2022 年度：2021 年 10 月 1 日－2022 年 9 月 30 日）よりシニア会員として登録されます。登録の流れについては下図のとおりです。シニア会員は日本植生史学会において正会員と同じ権利を持つものとし、会費は 3,000 円とします。

	2021年										2022年			
年度	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
	2021										2022			
学会年度	2021										2022			
	← 申請 →										承認			
											シニア会員として登録, 以降の会費は3,000円			

● 会費納入のお願い

2020 年度の会費納入にご協力ください。

日本植生史学会会費（2010 年度より）一般会員：6,000 円・学生会員：3,000 円・シニア会員：3,000 円・
団体会員：8,000 円・賛助会員：一口 20,000 円とし一口以上とする。
会費納付先：郵便振替口座 00980-8-70087 加入者名 日本植生史学会

● 異動・所属変更に伴う会員情報変更のお願い

学生会員及び一般会員の方で、異動、所属変更等がある方は、以下の日本植生史学会事務局にご連絡ください。

事務局：
●連絡・問合せ 庶務幹事 村上由美子 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学総合博物館 TEL：075-753-3279 庶務：hbmain@hisbot.jp 会誌投稿：journal@hisbot.jp
●NL編集 ホームページ・企業広告問い合わせ 広報・渉外幹事 西内李佳 広報・渉外：hbnews@hisbot.jp
●入会・異動・退会の申し込み、バックナンバーの購入、メーリングリストアドレスの登録・変更、NL発行 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル 株) 春恒社 学会事業部内 日本植生史学会事務局 Tel：03-5291-6231 Fax：03-5291-2176 Mail：hisbot-office01@shunkosha.com
●学会ホームページ http://hisbot.jp/